

令和2年(2020年)9月吉日

関係各位

関東甲信越地区中学校教育研究会理科部会
会 長 三宅 一彦
神奈川県公立中学校教育研究会理科部会
会 長 柿沼 隆一
第31回関中理研究会神奈川大会
第61回神中理茅ヶ崎寒川地区研究大会
運営委員長 代田 光弘

第31回 関東甲信越地区中学校教育研究会理科部会 神奈川大会
第61回神奈川県公立中学校教育研究会理科部会 茅ヶ崎寒川地区研究大会

最終案内

1. 研究主題 「理科の見方・考え方を働かせて資質・能力を育み、豊かな未来を切り拓く理科教育」
2. 大会主題 「学ぶ意義や有用性を実感し、科学的に探究し続ける力を育む理科教育
～『深い学び』を追究する主体的・対話的な理科授業～」
3. 副主題
第1副主題(教育課程) 日常生活や社会との関連を活かし、理科を学ぶことの有用性を実感させる教育課程
第2副主題(学習・評価) 自然の事物・現象への関心を高め、深い学びを目指す指導・評価
第3副主題(観察・実験) 目的意識をもち、科学的な探究を重視する観察・実験
第4副主題(環境教育) 自然を多角的に捉え、持続可能社会へ向けて視野を広げる環境教育
4. 主 催 関東甲信越地区中学校教育研究会理科部会
神奈川県公立中学校教育研究会理科部会
茅ヶ崎寒川地区中学校教育研究会理科部会
5. 後 援 神奈川県教育委員会 相模原市、海老名市、綾瀬市、座間市、
藤沢市、大和市、茅ヶ崎市、寒川町 各教育委員会
神奈川県公立中学校長会 茅ヶ崎寒川地区中学校長会
神奈川県科学教育振興委員会
6. 大会期日 令和2年(2020年)11月吉日

7. 大会内容 今回の発表は、新型コロナウイルスの感染拡大を懸念し、会場での発表は行いません。研究成果を研究紀要にて発表します。

また、研究の一部をホームページ(準備中)においても発信する予定です。

8. 大会事務局 茅ヶ崎市立松林中学校(連絡担当 渡邊 りな)

〒253-0018 神奈川県茅ヶ崎市室田 3-1-1 TEL 0467-52-5147

9. 大会主題設定の理由

21世紀は、新しい知識・情報・技術が社会のあらゆる領域において飛躍的に重要性を増す、いわゆる「知識基盤社会」の時代と言われている。知識基盤社会では、常に新しい未知の課題について試行錯誤しながら対応することが求められる。また、人工知能の進歩による情報化社会の高度化等によるグローバル化なども益々進歩するであろう。日本の教育はこれらの社会の変化を意識し続ける必要がある。

また、来年度より本格実施される学習指導要領においては、知識及び技能の習得と、思考力・判断力・表現力等の育成を踏まえた上で、育成を目指す資質・能力の明確化を図っている。また、子供たちが学習内容を深く理解し、今後も学び続けていくために、「主体的・対話的で深い学び」の推進をも求めている。

一方、様々な調査をもとに日本の中学校における理科教育の特徴について捉えてみると、次のような傾向が読み取れる。①小学生と比べて、理科の学習について消極的な意見が多い。②理科の学習が将来の自分に関係するという意識が低い。③理科に関する活動(学習や活用)を日常的に行う割合が低い。これらの値は10年前と比較して改善されつつあるが、国際的に見ると依然として低い割合である。

以上のことを踏まえ、私たちは次のような取り組みを提案する。①身の回りには「科学」に関係することが数多くあり、それらは私たちの生活や未来に深く関わっていることを実感させる。②「課題の設定-仮説-検証-考察」の探究の過程を重視する。③課題に対して主体的な関わりを大切に、考えることは面白いということに気づかせる。

これらのことから今回の大会主題を

学ぶ意義や有用性を実感し、科学的に探究し続ける力を育む理科教育
～「深い学び」を追究する主体的・対話的な理科授業～

と設定した。

10. 副主題

第1副主題(教育課程) 日常生活や社会との関連を活かし、理科を学ぶことの有用性を実感させる
教育課程

第2副主題(学習・評価) 自然の事物・現象への関心を高め、深い学びを目指す指導・評価

第3副主題(観察・実験) 目的意識をもち、科学的な探究を重視する観察・実験

第4副主題(環境教育) 自然を多角的に捉え、持続可能社会へ向けて視野を広げる環境
教育

11. 研究提案

【開催地区提案】

副主題関連	研究グループ	提案者代表 (茅ヶ崎寒川地区中学校)	発表内容 (学年)
第1副主題 教育課程	物理	桜松陽平 (茅ヶ崎市立松林中)	電流と磁界 (2年)
第2副主題 学習・評価	化学	平山友朗 (茅ヶ崎市立鶴嶺中)	水溶液とイオン (3年)
第3副主題 観察・実験	地学	梶原孝徳 (茅ヶ崎市立中島中)	自然の恵みと火山災害 (1年)
第4副主題 環境教育	生物	阿部晃峰 (寒川町立旭が丘中)	生物と環境 (3年)

12. 副主題研究発表 ※口述発表の分担地区も文書発表になります。

第1副主題 (教育課程)

発表形態	分担地区	発表内容	発表者・所属校
口述→文書	東京	理科の見方・考え方を働かせる地球領域の学習～ブロック玩具を用いた生徒が課題を設定する活動例～	東京都中学校理科教育研究会・観察実験委員会
口述→文書	栃木	生徒が学習したことを活用して、他者へ説明できる学習指導	櫻井和洋 (栃木県真岡市立中村中学校)
口述→文書	横須賀	身近な現象から『主体的・対話的で深い学び』につながるための教育課程	熊谷卓行 (横須賀市立坂本中学校)
文書	横浜	探究の課程を通して、豊かな未来を切り拓く力を育む教育課題の研究	浅利 圭 (横浜市立原中学校)

第2副主題 (学習・評価)

発表形態	分担地区	発表内容	発表者・所属校
口述→文書	群馬	生徒自ら考え課題を発見し、深い学びにつながる指導・評価の工夫～ワークシート、振り返りの工夫を通して～	阿部勇介 (館林市立第四中学校)
口述→文書	埼玉	生徒が自らの学びを振り返り、教師の授業改善が可能な学習評価～一枚ポートフォリオ評価(OPPA)論の活用～	山口慎一 (春日部市立春日部中学校)
口述→文書	神奈川西部	学びに向かう力を育み、知的好奇心や探究心を育む理科教育～観察・実験を通じて思考力や表現力を育成する～	清水 基 (伊勢原市立成瀬中学校)
文書	川崎	主体的・対話的に学ぶ楽しさ、わかる喜びを味わう学習の指導と評価	金子裕輝 (川崎市立平間中学校)

第3副主題（観察・実験）

発表形態	分担地区	発表内容	発表者・所属校
口述→文書	茨城	目的意識をもち、科学的な探求を重視する観察・実験のための理科学習指導の工夫～段階的に仮説を設定する学習活動の工夫を通して～	渡邊順子（鹿嶋市立大野中学校）
口述→文書	横須賀	基礎・基本を活用して、身近な事象を探究する力を育む観察・実験	西郷和俊（横須賀市立大矢部中学校）
口述→文書	横浜	GIGAスクール時代に向けた観察・実験法	窪田真哉（横浜市立すすき野中学校）
文書	横須賀	主体的・対話的で深い学びをめざした観察の工夫	藪崎正信（三浦市立初声中学校）

第4副主題（環境教育）

発表形態	分担地区	発表内容	発表者・所属校
口述→文書	千葉	自然を多角的に捉え、持続可能社会へ向けて視野を広げる環境教育～地元養老川流域にみられる田淵地磁気逆転地層の教材化を通して～	馬淵隆一（市原市立三和中学校）
口述→文書	山梨	地域の人材や施設を活用した環境教育の実践～『地域教材としての富士山』についての学習事例の紹介～	藤原 聡（富士河口湖組合立河口湖南中学校）
口述→文書	川崎	理科の有用性を高める授業	大橋 聡（川崎市立生田中学校）
文書	神奈川西部	科学的に探究する能力の育成を目指した環境教育	君嶋拓人（愛川町立愛川中学校）

[連絡・問い合わせ先]

運営委員長

茅ヶ崎市立萩園中学校 教頭 代田 光弘

〒253-0071 神奈川県茅ヶ崎市萩園 2425

TEL 0467-82-9192 FAX 0467-82-9193

大会事務局

茅ヶ崎市立松林中学校 教諭 渡邊 りな

〒253-0018 神奈川県茅ヶ崎市室田 3-1-1

TEL 0467-52-5147 FAX 0467-52-5148